

PH(パ°ジ`ィタ+ハセフ°チ)【乳】療法

注射薬

投与順序	外観	お薬の名前	お薬のはたらき
1		パ°ジ`ィタ点滴静注	治療のお薬です。初回は60分かけて点滴します。
2		ハセフ°チ注射用	治療のお薬です。初回は90分かけて点滴します。

内服薬

投与順序	外観	お薬の名前	お薬のはたらき
1		加ナル細粒	解熱鎮痛剤です。副作用を予防するために、初回投与の時のみ内服します。

投与スケジュール

薬品名	日数																												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
パ°ジ`ィタ点滴静注	↓																												
ハセフ°チ注射用	↓																												

3週間ごとに投与します。

PH(パ-ジエタ+ハ-セブチ)療法【乳】

よく起こる副作用

★過敏反応

発生時期 薬剤投与開始直後～24時間以内まで

症状 約4割の患者様に発熱、悪寒、悪心などがあらわれます。また呼吸困難、吐き気、頭痛、倦怠感、めまい、咳などの症状があらわれることがあります。頻度は多くありません。まれにアナフィラキシー様症状(重篤な過敏反応)があらわれることがあります。

対処法 ○初めてハ-セブチンやパ-ジエタを点滴する場合に起こりやすく、2回目以降はなくなることがほとんどです。
○上記のような症状が現れた場合はすみやかに看護師にお知らせください。

頻度は少ないが注意を要する副作用

★骨髄障害

発生時期 薬剤投与日から7～14日に減少します

症状 骨髄には造血細胞と呼ばれる白血球(細菌などから体を守る)、血小板(出血を止める)、赤血球(酸素を運ぶ)の元になる細胞があり、この造血細胞にお薬が作用して造血細胞に障害を及ぼすことを骨髄抑制(障害)といいます。骨髄抑制が起こると、白血球、血小板、赤血球の数が減少し、その働きも弱くなり、感染症や出血、貧血などの症状があらわれやすくなります。

<代表的な症状>

●感染症：37.5℃以上の発熱・寒気・ふるえ・のどの痛み など

●貧血：疲れやすい、めまい、立ちくらみ、動悸、顔色が青白い など

●出血：紫斑(原因不明のあざ)、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血が止まりにくい など

対処法 ○感染対策で最もポイントとなるのは、患者様自身の感染予防のセルフケアと感染の早期発見です。感染症をおこさないように、人ごみを避け、こまめにうがい、手洗いを行いましょう。白血球は一時的に下がっても、その後回復します。
○貧血では症状の自覚のないまま、転んだりして事故を起こす危険もあります。日常生活では十分な休養をとりましょう。また、いきなり動かず、動き始めはゆっくりとするように注意して下さい。
○血が止まりにくくなる場合がありますので、かみそりや爪きりのような鋭いものを使用する際には注意して下さい。打ち身や切り傷を作るような行為や激しい運動は控えるようにしましょう。歯ブラシも柔らかいものを使いましょう。
○症状に応じて、薬剤の投与や、輸血をする場合があります。

★心機能障害 (パ-ジエタ・ハ-セブチ)

症状 心臓の機能の低下や呼吸困難などの症状があらわれることがあります。

対処法 ○投与前に心臓機能の検査を行います。

その他の副作用

★その他

症状 下痢、発疹 等

対処法 ○症状に応じて対症療法を行います。

副作用は薬剤ががん細胞を攻撃するときの一部の正常の細胞にも影響を与えてしまうことにより起こるものです。

もちろん正常な細胞は治療が終わればもとに戻りますし、副作用も少しずつ回復します。

副作用の出かたや、程度は個人によってさまざまであり、副作用の全てが現れるとは限りません。

大事なことは予想される副作用を十分理解し、その対処をすばやく行うことです。そして副作用があらわれた場合はもちろん、それ以外でも気になることがありましたらどんなことでも、主治医や看護師、薬剤師に相談して下さい。

医療法人敬愛会 中頭病院（薬剤部）

